

◎あとかぎ

この5月号のあとかぎは、東日本大震災からちょうど1年になる3月11日に書いています。あの日は東京でも激しく揺れ、東北地方ではさらに津波による大きな被害、また福島では原子力発電所の事故を引き起こす事態となりました。各メディアの報道では大震災から1年後の今でも復興が進んでいない状況です。最近では首都直下型震災の可能性についても報道されています。地震国日本は、いつ、どこで大きな震災が起こるかわかりません。東日本大震災の経験を生かし震災に備えるようにしたいと思います。

われわれも毎日漫然と検査をして結果を報告するのではなく、先生方や患者に貢献できる臨床検査のスペシャリストとして最新の知識や技術を学び、これらを生かして役立つデータを報告できるように努力しましょう。

今月号の“技術講座”ではホルター心電計とは違う携帯型心電計が紹介されています。最近では血糖簡易測定器のように医療現場で扱う検査機器のみではなく、家庭で患者あるいは会社や学校が購入して利用する機器も増えていきます。われわれもこれらの機器の性能や利用法を理解し、患者にどのように役立っているのか知っておく必要があります。“疾患と検査値の推移”では、急性糸球体腎炎の病状評価で尿定性試験や尿沈渣所見の有用性が述べられています。また、“検査値を読むトレーニング 信州大学 R-CPC”の第5回目では、尿管結石による腎盂腎炎から敗血症を合併した症例について検査データの変動が解析されています。

最近では安全な輸血や移植医療のための検査も多く取り上げており、今月で第3回目となる“Laboratory Practice”のシリーズ「安全な輸血実施のために一日赤血球センターの体制」では、非溶血性輸血副作用について解説いただいております。「移植医療と検査」シリーズでは、2010年度から非血縁者間の末梢血幹細胞移植が実施されるようになり CD 34 陽性細胞数の測定など移植時に必要な検査の重要性が述べられています。さらに、新しい胃癌検診法として *H. pylori* 抗体とペプシノゲン (PG) I と II の血液中の値から胃粘膜の萎縮の程度を推測できる PG 法を組み合わせた ABC 法が確立され、今後の課題も含めて解説されています。

新年度がスタートして約1か月が経過し、新しい職場環境にも慣れてきたこれからの新緑の季節に今月号を手にとり、有意義に過ごしていただきたいと思います。(曾根伸治)

◎6月号予告 第40巻6号(2012年6月号)

病気のはなし

狭心症・心筋梗塞 ————— 森 文章
技術講座

生理：浮腫と超音波検査—リンパ浮腫と

DVT による浮腫の鑑別法 ————— 寺澤史明

微生物：腸管寄生原虫類の遺伝子検査法性

————— 吉川尚男, 他

生理：シリーズ 乳房超音波検査・6

病変の超音波像：非腫瘍性病変 ————— 神谷久美子

疾患と検査値の推移

膀胱癌 ————— 今村綱男, 他

ワンポイントアドバイス

検査相談室の意義 ————— 杉山昌晃

Laboratory Practice

免疫血清：CD 34 陽性細胞の測定システム

————— 國友由紀子, 他

一般：大腸癌検診の現状とあり方 ————— 三原修一

救急：災害医療現場で必要な検査 ————— 櫛引健一

輸血：自己フィブリン糊の有用性と作成法

————— 牧野茂義

移植医療：移植医療と検査⑩

造血幹細胞移植後 GVHD の病理 ————— 伊藤雅文

臨床医からの質問に答える

心膜癒着サインとはなんですか? ————— 増田喜一

検査値を読むトレーニング 信州大学 R-CPC

第6回 高血圧と浮腫のため入院した50代男性

————— 本田孝行, 他

第58回臨床検査技師国家試験—解答と解説

今月の表紙/ラボクイズ/臨床検査のピットフォール/
トピックス/けんさ外国語会話/Coffee Break/他

◎ラボクイズ当選者

第40巻3号(2012年3月号)

堀川市郎(あわら市)/布沢りょうこ(所沢市)/保坂力
(安曇野市)/内田唯(塩釜市)/平塚孝織(児湯郡都農
町)/太田光(岐阜市)/阿部絵理(東田川郡庄内町)/
稲原裕子(多治見市)/松浦里香(北宇和郡鬼北町)/
田丸盛夫(川口市)/鈴木恭子(日高郡みなべ町)/佐
藤真姫(塩釜市)/佐々木裕美子(郡山市)/中筋孝史
(羽曳野市)/平松裕子(塩釜市)/本山益美(さいたま
市)/山口剛(木更津市)/相内笑梨香(上川郡美瑛
町)/近藤直美(岐阜市)/山田幸栄(朝霞市)/花田妙
子(函館市)/林久美子(鳥取市)/大野あけみ(岐阜
市)/池田和人(南砺市)/沢井真史(富山市)/高正則幸
(青森市)/石田睦子(小矢部市)/西谷百里子(三好郡
東みよし町)/福家隆雄(丸亀市)/山川貴章(豊川市)

◎編集委員

菅野 治重
(編集主幹)
伊瀬 恵子
曾根 伸治
高木 康
種村 正
手島 伸一
矢富 裕
(五十音順)

検査と技術

2012年5月1日発行(毎月1日発行)
定価 1,575 円(本体 1,500 円+税 5%)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優
☎113-8719
東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5713
ファクシミリ (03) 3815-7802 / (03) 3815-7982
E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp
http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通 (03) 3817-5659
振替口座 00170-9-96693
印刷 ㈱アイワード (011) 241-9341
広告取扱 ㈱東 広 社 (03) 3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は㈱医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(㈱)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(㈱)出版者著作権管理機構

(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

(担当 山本・井上・能藤)